



PROJECT

「TOHO OFFICE」

ご依頼主：東邦ハウジング株式会社 様

2020年9月、福岡のスタートアップ企業が多く集まる福岡市中央区大名にコワーキングスペース「TOHO OFFICE」がオープン。コワーキングスペースと同ビルに併設されている東邦ハウジング様の新オフィスをスケルトンの状態から外部デザイナーを迎え、内装提案と施工を手がけました。

一過ごしたい場所で過ごす

「大名の町を歩くビジネスマンや観光客がふらっと立ち寄って仕事をしたり、休憩をしたり…」誰もが癒され、落ち着ける空間にしました。新しい働き方として注目されているABW※を採用し、同ビルにホテルが併設されているのでラウンジにチェックインカウンターを設けるなどオフィス空間でありながらもホテルフロントの要素も取り入れています。

※Activity Based Working…アクティビティ・ベース・ワーキングの略。働く人が今やるべき仕事に対して、いつ・どの場所でやるのが最も効率がいいかを自分で決めることができる働き方。



オープンスペース以外に作業に集中できる間仕切り席、窓際には快適に利用できる広めのブース席や個室ブースなど様々なワークスペースを用意することで、どんなシチュエーションでも仕事が捗ります。

「ヴィンテージ×コンフォート」をデザインコンセプトに 落ち着きがある特別な空間に

Wood（木）は荒削りの中に温かみがあり癒しを演出。Iron（鉄）でクールなカッコよさを引き立たせ、Brick（レンガ）を使うことで味わいを表現。深みのあるLeather（革）をアクセントとして用いることで空間に更なる奥行きを与えてくれます。

コワーキングスペースの受付は併設のホテルの受付を兼ねており、そこを抜けると大画面スクリーンで映画鑑賞が出来る空間になっています。この空間はお客様から要望のあったSNS映えるスポットとしてもご提案させていただきました。



“特別感”“高級感”を演出するためにブラックや木目を中心としたマテリアルを選定しつつ、オフィスであることも考慮し機能性も重視しました。ラウンジを中心に東邦ハウジング様の新オフィス、コワーキングスペースと、別々の機能をもった空間をガラスパーティションでさりげなく繋ぐことで一体感ある空間にしました。

シャワーブースやフィットネス設備などを設け、仕事だけでなくリフレッシュもできる健康を意識した空間にしたいというご要望を受け、「企業の創造と交流の場」、「健康に働く場」をコンセプトにしたワーキングスペースの実現とお客様や社員にも魅力ある空間にすることができました。



左上：ライティングコーディネーターがこだわった照明を採用し、空間全体を落ち着いた雰囲気あるスペースにしました。

左下：シャワーブースやフィットネス設備を設け、健康も意識したフレキシブルな空間にすることでリフレッシュすることもできます。

右下：ピクトサイン等もあわせてご提案いたしました。

FROM DESIGNER

何度も訪れていくうちに愛着を感じ、自分だけの特別な空間へ

この空間を利用するすべての人に自宅でも過ごすような「居心地のよさ」、「使い慣れた道具のように馴染んだ」空間を感じてもらいたい、何度も訪れていくうちにこの場所に愛着を感じ、自分だけの特別な空間になってほしいという気持ちを入れた物件です。

真新しい空間もいいですが、完成した時よりも毎日使ってもらい、触れてもらい、体験することで味わいがでてその空間が完成されていく、そんな理想の空間となりました。

FROM EDITOR

一貫して提案することのこだわり

予算やスペース等お客様のご要望の条件の中で理想の空間を具現化するために、デザイン、レイアウト、造作家具、備品、設備等までを当社は一貫してご提案させていただく事が可能です。ご質問等、ぜひお気軽に下記メールアドレスまたはメール本文内のお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

デザイナーークでは、ハウジングからオフィス・商業・ホテル空間等のインテリアプロデュース納品等を行っております。HPでも施工事例をご紹介しますので、是非チェックしてください。

本メールマガジンに関するお問合せ：news@designarc.co.jp